

「福岡市オンライン日本語教室実施業務委託」提案競技に係る質問と回答

番号	項目	質問	回答
1	・資料1 仕様書 4 (1)③b.コース設定	受講者の募集前にコースを決定し、その後募集を開始するのか。	お見込みのとおりです。
2	・資料1 仕様書 4 (1)③b.コース設定 ・資料1 仕様書 4 (1)③g.定員	受講者が集まらない場合に、コース開始後に内容を変更してもよいか。	コース開始時に定員に達していない場合であっても、コース内容は途中で変更せず実施してください。なお、開始時に受講者が全くいない場合については、別途協議します。
3	・資料1 仕様書 4 (1)③b.コース設定 ・資料1 仕様書 4 (1)③j.オ.日本語能力の評価	受講者をレベル別にクラス分けする際、受託者にてレベルチェックを行う必要があるか。	仕様書 4 (1)③j.オ.に記載のとおり、参加前に受託者にて受講者の日本語能力の評価を行い、受講者へのフィードバックをお願いします。なお、受講者が希望するコースと、日本語能力の評価結果が一致しない場合は、受講者に評価結果をフィードバックした上で、最終的には受講者の希望を尊重します。また、評価ツールは仕様書に例示していますが、他のツールを使用しても構いません。
4	・資料1 仕様書 4 (1)③b.コース設定 ・資料1 仕様書 4 (1)③j.オ.日本語能力の評価	コースのレベルが受講者の日本語能力に合っていないことが、受講開始後に判明した場合、途中で受講するコースを変更させてもよいか。	クラスの定員を超えず、対応可能であれば受講者と協議の上、変更させても構いません。
5	・資料1 仕様書 4 (1)③j.カ.教材	「教材は、受託者が準備する。」とはどういう意味か。	国際交流基金 (https://www.irodori.jp/f.go.jp/) によるオンライン教材並びに、受託者において別途の教材を使用する場合の教材について、本オンライン日本語教室で使用できるよう準備ください。なお、これら教材の紙媒体での配布は、任意とします。
6	・資料1 仕様書 4 (1)③i.使用教材 4 (1)③j.カリキュラム	必要な内容を盛り込むために、国際交流基金「いろどり」に加え、別の教材を追加してもよいか。	お見込みのとおりです。
7	・資料1 仕様書 4 (1)③j.ウ.交流会等	実施会場については、受託者と協議のうえ市が準備することとなっているが、フィールドワークを行う等、屋外で実施してもよいか。	対面交流会については、屋内を想定していますが、実施内容によっては屋外での実施も可能です。
8	・資料1 仕様書 4 (1)③j.ウ.交流会等	交流会等の実施会場について、予約等の対応及び費用負担、いずれも市が実施するという理解でよいか。	お見込みのとおりです。
9	・資料1 仕様書 4 (1)③j.ウ.交流会等	市内の地域日本語教室等との連携について、地域日本語教室は市が紹介してくれるのか。	市から地域日本語教室への参加呼びかけ・案内を行う、もしくは市から特定の教室を紹介するなどの対応を予定しています。（地域日本語教室に関する情報は（公財）福岡よかトピア国際交流財団のホームページに掲載しています。）
10	・資料1 仕様書 4 (1)③j.ウ.交流会等	「市内の地域日本語教室等との連携」とは具体的にどういうことか。	受講者が、市内の地域日本語教室に関する情報を得たり、接点を持つことができ、本オンライン日本語教室の修了後の、地域日本語教室への参加意欲を喚起するような内容を想定しています。

番号	項目	質問	回答
11	・資料1 仕様書 4 (1)③j.ウ.交流会等	「市内の地域日本語教室等との連携」において、地域日本語教室のボランティアに参加してもらう際の交通費等を支払う必要があるか。	交通費、謝礼金などは支払不要です。
12	・資料1 仕様書 4 (2)広報	チラシ等は多言語対応が必要か。必要な場合、どの言語を対応する必要があるか。	入門から初級レベルの日本語学習者を対象とするため、多言語対応が必要です。国籍別の本市在住外国人数から、英語・中国語・ネパール語・ベトナム語・韓国語の対応をお願いいたします。
13	・資料1 仕様書 4 (1)③j.ウ.交流会等	対面の2回について、3コースでそれぞれ2回（合計6回）の実施か。その場合、同日に3コース分を実施しても良いか。 例：午前 入門、午後 初級1、初級2	【回数】 6クラス各2回（計12回） 3コース各2回（計6回）いずれも可。 【実施日】 3コース同日実施も可であるが、場所の確保が難しい可能性が高い。
14	・資料1 仕様書 4 (1)③j.ウ.交流会等	対面交流会について、1回90分間で良いか。同日に3コースの受講生をまとめて実施してよいか。	【時間】 お見込みのとおりです。 【実施日】 対面交流会については、クラスごとの実施（計12回）もしくはコースごとの実施（計6回）を想定しており、複数のコースをまとめて実施することは、想定しておりません。なお、3コース同日実施も可であるが、場所の確保が難しい可能性が高い。
15	・資料1 仕様書 4 (1)③j.ウ.交流会等	現地ボランティア教室等との連携は、教室を訪問するなどではなく、用意された施設（会議室等）に全員集合の上実施するのか。	対面交流会は、地域日本語教室が実施されている場所への訪問ではなく、市内に別途の会場で実施することを想定しています。
16	・特になし	本事業は本年度初めての実施か。過去にも実施した場合は、過去事業の成果と課題はどうだったか。	昨年度は直営で実施。なお、受講者の日本語能力については、自己申告のみで、レベルチェックや評価は実施していない。 【実施内容】 ・週1回90分1クラス（夜間）×30回 ・対象者：入門レベル 【成果】年間を通じて参加申し込みがあった。（申込者総数：約60名、実受講者数：33名） 【課題】 ・受講者の日本語能力に差異があった。 ・日によって受講者数にばらつきがあった。